

看護学教育基礎論

[講義] 1年・2年 選択 30時間 2単位

《担当者名》桑原ゆみ [yumi-k@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

本講では、看護基礎教育における看護学教育の基礎として、教育の三観、教育目標の分類体系に対応した教授 学習方法と評価方法について理解する。また、看護基礎教育における授業設計について、講義、演習、および臨地実習それぞれの特徴を踏まえた指導案について検討する。さらに、学習者の能動的学習を促す、インストラクショナルデザインを用いた授業設計、アクティブラーニングの多様な方法、およびルーブリック評価について、基本を理解し、活用可能性を検討する。

【学修目標】

1. 授業設計と教育理念・カリキュラムとの関連を理解し、授業設計について説明できる。
2. 授業設計で重要な、教育の三観、教育目標の分類体系、教授 学習方法、評価方法について説明できる。
3. 講義、演習、臨地実習の特徴を踏まえ、指導案の作成の概要が説明できる。
4. 学習者の能動的学習を促す、インストラクショナルデザイン、アクティブラーニング、およびルーブリック評価について理解し、看護学教育における活用可能性を検討できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 }	看護基礎教育における授業設計	授業設計とは何か？ 教育理念、カリキュラムと授業設計との関連 教育の三観とは何か？ 教育目標の分類体系に対応した授業 教授方法	桑原
2			
3 }	看護基礎教育における授業設計	指導案の作成の意義と構成要素 講義の指導案	桑原
4			
5 }	看護基礎教育における授業設計	演習の指導案 実習の指導案	桑原
6			
7 }	看護基礎教育における授業設計	教育目標の分類体系に対応した評価方法	桑原
8			
9 }	学習者の能動的学習を促す教育方法	インストラクショナルデザインを用いた授業設計 インストラクショナルデザインの原理 授業設計への適用	桑原
10			
11 }	学習者の能動的学習を促す教育方法	アクティブラーニングの多様な方法 共同学習 PBL ポートフォリオ	桑原
12			
13 }	学習者の能動的学習を促す教育方法	ルーブリックの基礎と活用の効果 ルーブリック評価の試作と検討	桑原
14			
15	看護学教育で用いられる教授方法と今後の活用可能性	課題レポートのプレゼンテーションとディスカッション 学修目標の達成の確認 まとめ	桑原

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

プレゼンテーション(30%)、ディスカッション(30%)、課題レポート(40%)

【教科書】

佐藤みつ子・宇佐美千恵子・青木康子『看護教育における授業設計 第4版』医学書院，2009年．(2,800円)

【参考書】

野崎真奈美・水戸優子・渡辺かづみ『計画・実施・評価を循環させる授業設計』医学書院，2016年．(2,600円)

杉森みど里・舟島なをみ『看護教育学 第7版』医学書院，2021年．(5,500円)

池西静江・石束佳子『看護教育へようこそ 第2版』医学書院，2021年(3,300円)

【学修の準備】

関連する参考文献を熟読し、授業に臨む。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。